



藤医会の活動のご紹介

藤医会 会長

黒田 誠 (1回生)

新型コロナウイルス感染症の第8波でいまだに医療界は混乱が継続していますが、藤医会会員の皆様には各々の分野でご尽力をされていることと推察いたします。

本学医学部は1972年に創設して2022年で創設50周年を迎えることとなり、学園では様々な行事が計画されています。また長年の懸案であった総長先生の銅像の除幕式も無事に終了いたしました。

振り返ってみますと同年には、自治医科大学、埼玉医科大学、金沢医科大学、愛知医科大学、兵庫医科大学、福岡大学医学部が誕生しています。それぞれが独自の形で発展をして持ち味の異なる医学部に成長をしています。本学医学部は建学の理念「獨創一理」の元、目覚ましい発展をしてきていることは会員の皆様のご承知の如くであります。

さて私が第6代の藤医会会長を拝命して4期8年が経過しようとしています。同窓会は大学と卒業生の橋渡しができる唯一の存在ですので大学の現状を正しくお伝えし、会員からのご意見、ご要望を大学にお伝えして歯車がうまく噛み合うような活動をしていかななくてはなりません。特に学外に出て久しく、最近の大学の状況が把握しにくい会員の皆様に分かりやすく正確な事実をお伝えることに心掛けております。現在の執行部の活動の現状をご紹介し活動内容にご理解をいただけましたら幸甚に存じ上げます。

まずは名簿の発刊ですが、当初から無料で毎年発刊してきましたが卒業生が増えるのと同時に2年に1回の発刊に変更をさせていただいております。個人情報の取り扱いには慎重を期しておりますが、50年が経過いたしましたので今後の発刊につきましては検討中でございます。

また私どもの執行部は支部訪問に力を入れてまいりました。可能な限り私も含めて複数名で多くの支部を訪問して対面でお話をさせていただき、大学との距離が縮まるように努力をまいりました。しかしこの3年間はコロナ禍で支部訪問が全くできておらず、早い復活を祈念しております。

同様に開催が延期または中止になっていますが西日

本私立医科大学同窓会連絡会、全国私立医科大学同窓会連絡会に出席して私立医科大学の動向を把握させていただき、良いところは本学同窓会にも取り入れるべく努力しております。

同窓会館の設立はいまだ叶いませんが学園から同窓会室をお借りできています。定期的に執行部が同窓会室に集まり執行部会議事を進行していましたが、コロナ禍になってからは平日の夜にZoomを使用して毎月1回実施をしております。年末には理事会を、その翌年の2月に総会を開催し、その際に教授に昇任された卒業生の先生方の記念講演会も開催しております。本号でも昇任された先生方のご紹介ができて大変うれしく思っております。また既に多くの先生方が、医師会でご活躍をされておられますが、本年は4回生の細川秀一先生が日本医師会の常任理事に就任されました。本号でもご紹介をさせていただいております。特筆すべき快挙と思います。

50年は大きな節目になりますので会員の先生方には更なるご支援を賜りますことを切にお願いする次第でございます。以上のような内容を機関紙(夏号、冬号)として発刊いたしておりますのでご拝読いただけましたら幸甚に存じ上げます。

先生方の益々のご発展、ご健勝を祈念させていただき藤医会会長としての巻頭言とさせていただきます。

